

北見工業大学学報

第 294 号 (2019 年 7 月号)

目 次

入 試	令和 2 年度編入学試験 (第 1 次募集) の実施	3
研 究 助 成	令和元年度外部資金の受入状況	4
人 事	人事異動	5
受 賞	情報通信系 柏達也教授が電気学会第 75 回電気学術振興賞 進歩賞を受賞	6
	情報通信系 前田康成教授が太陽光発電量予測技術コンテスト 『PV in HOKKAIDO』手法賞を受賞	6
	本学大学院生が第 28 回環境化学討論会で国際ポスター賞 (英国王立化学会 RSC 賞) を受賞	7
	本学大学院生が The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB2019) で優秀ポスター賞を受賞	8
	本学大学院生が第 41 回コンクリート工学講演会において 年次論文奨励賞を受賞	9
諸 報	北海道開発局網走開発建設部北見河川事務所及び 北見道路事務所と連携協定を締結	10
	図書館消防訓練を実施	11
	Regarding the future of IWMST and a meeting proposal 2019 を開催	12
	東北地区進学相談会を開催	13
	父母懇談会 (春季) を開催	14
	研究室公開を実施	15
	ブックリユースを開催	17
	北見市教育研究協議会社会科部会による施設見学を開催	18
	科学英語論文執筆セミナーを開催	19
	北見管内漁業協同組合長会と包括連携協定を締結	20
	ハラスメント防止研修を実施	21

	学生選書ツアーを実施……………	22
	第 66 回北見ぼんちまつり舞踊パレードに参加……………	23
	北洋銀行ものづくりテクノフェア 2019 に出展……………	24
	オープンキャンパスを開催……………	25
	かふえてらす@美幌を実施……………	26
目 誌	6 月・7 月……………	27

= 入試 =

令和2年度編入学試験（第1次募集）の実施

（入 試 課）

令和2年度編入学試験第1次募集（推薦入試、学力試験入試）を実施しました。両学科別の合格者数等については下表のとおりです。

なお、編入学試験第1次募集（社会人特別入試）については、志願者がいなかったため実施しませんでした。

学 科	推薦入試				学力試験入試			
	募集人員	志願者	受験者	合格者	募集人員	志願者	受験者	合格者
地 球 環 境 工 学 科	5	1	1	1	若干人	5	5	4
地域未来デザイン工学科	5	2	2	2		5	5	4
合 計	10	3	3	3		10	10	8

= 研究助成 =

令和元年度外部資金の受入状況

(研究協力課)

	令和元年7月31日までの合計		前号までの合計		令和元年度累計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
共同研究	18	19,727	65	48,118	83	67,845
受託研究	1	2,721	2	8,980	3	11,701
奨学寄附金	20	22,328	14	11,452	34	33,780

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
元. 7. 1	財務課係長	菊池 一修	総務課係長
〃	入試課係長	原 勇介	財務課係長
〃	総務課係長	川島 恵也	学務課学生支援室係長
〃	学務課学生支援室係長	上野 祐輔	入試課係長
〃	(新規採用)	(さの ふみのり) 佐野 文則	施設課主任

= 受賞 =

情報通信系 柏達也教授が電気学会第 75 回電気学術振興賞 進歩賞を受賞

(情報通信系)

この度、情報通信系の柏達也教授が、一般社団法人電気学会の令和元年表彰において、第 75 回電気学術振興賞進歩賞を受賞しました。

この賞は、電気に関する学術・技術において新規な概念・理論・材料・デバイス・システム・方式等を新たに提案或いはこれ

らの提案を実証した者および電気に関する製品・設備等を新たに完成又は改良し、顕著な成果をあげた者に贈られるもので、5月 30 日（木）の授賞式にて、名古屋工業大学の平田晃正教授らとの共同受賞となりました。

受賞タイトル及び受賞者

「大規模人体複合物理解析に基づく熱中症リスク管理システムの開発と実用化」

平田晃正、江川隆輔、柏達也、Laakso, Ilkka、堀江祐圭

一般社団法人電気学会 令和元年表彰 <https://www.iee.jp/blog/award2019/>

研究者情報 http://kashiwa-lab.net/kashiwa/kashiwa_index_jp.html

情報通信系 前田康成教授が太陽光発電量予測技術コンテスト 『PV in HOKKAIDO』手法賞を受賞

(情報通信系)

この度、情報通信系の前田康成教授が太陽光発電量予測技術コンテスト『PV in HOKKAIDO』において手法賞を受賞しました。

太陽光発電量予測技術コンテスト『PV in HOKKAIDO』は、北海道電力株式会社と東京電力ホールディングス株式会社の共同開催による、北海道内における太陽光

発電設備を対象とした発電量を予測する手法の提案とその精度を競うコンテストです。

今回の受賞では、個別地点の積上げではないエリア一括予測や北海道以外の気象データも活用するなど、今後の発展性を評価されました。

太陽光発電量予測技術コンテスト『PV in HOKKAIDO』結果発表

<https://cuusoo.com/projects/50369/challenges/result>

本学大学院生が第 28 回環境化学討論会で国際ポスター賞 (英国王立化学会 RSC 賞) を受賞

(生産基盤工学専攻)

本学大学院生の大岩真子さん（博士後期課程 生産基盤工学専攻 1 年、日本学術振興会特別研究員 DC1、主指導教員：齋藤徹教授）が、第 28 回環境化学討論会（6 月 12 日（水）～14 日（金）、埼玉会館、主催：日本環境化学会、協力：RSC（英国王立化学会）、SETAC Japan）において、国際ポスター賞（英国王立化学会 RSC 賞）を受賞しました。

国際ポスター賞は、研究の意義、内容、考察、素材、発表態度、質疑応答の 6 項目の審査に基づき、満 35 歳以下の学会員と海外招聘者の中から優秀な英語ポスター発表者に対して贈られるものです。

大岩さんは「Organoclay sorption method for diffusion control of fenitrothion to aquatic environment」という題目で発表しました。



本学大学院生が The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB2019) で優秀ポスター賞を受賞

(寒冷地・環境・エネルギー工学専攻)

7月1日(月)～7月4日(木)、台湾の淡水で開催された The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB 2019) において、本学大学院生の森本一輝さん(博士後期課程 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 1年、主指導教員:小西正朗教授)が Young Scientist Competition Awards にて優秀ポスター賞(3位)を受賞しました。

Young Scientist Competition Awards は若手研究者の発表の中から優秀な発表者に対して贈られるものです。森本さんは「The metabolomics analysis for revealing frozen-adapting mechanisms in non-conventional yeasts isolated from Okhotsk Region, Hokkaido, Japan」という題目で発表しました。

The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB 2019) <http://www.acb2019.tw/>



受賞した森本さん(中央)

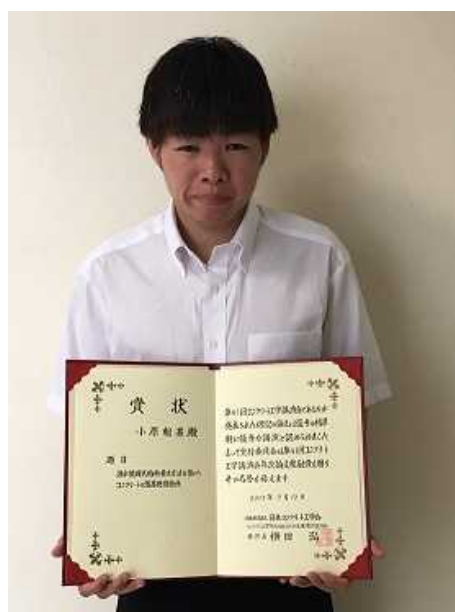
本学大学院生が第41回コンクリート工学講演会において年次論文奨励賞を受賞

(社会環境工学専攻)

7月10日(水)～12日(金)に札幌コンベンションセンターで開催された第41回コンクリート工学講演会(日本コンクリート工学会主催)において、本学大学院生の小原総基さん(博士前期課程 社会環境工学専攻1年 指導教員:井上真澄准教授)が年次論文奨励賞を受賞しました。

発表題目は「温水循環式給熱養生方法を

用いたコンクリートの強度発現特性」で、冬季のコンクリート工事に必要とされる効率的かつ安全な給熱養生システムの有用性を明らかにする研究です。新規性の高い研究論文の内容と、会場でのプレゼンテーションが高く評価され、年次論文奨励賞の受賞となりました。



受賞した小原さん

北海道開発局網走開発建設部北見河川事務所 及び北見道路事務所と連携協定を締結

(地域と歩む防災研究センター)

6月5日(水)、北海道開発局網走開発建設部北見河川事務所(天野博之事務所長)及び北見道路事務所(小谷内史義事務所長)と、本学地域と歩む防災研究センター(川尻峻三センター長)が、オホーツク管内の防災・減災に関する協定を締結しました。

本協定は、オホーツク管内の防災・減災への取組みをより強固なものとするため、地域と歩む防災研究センターの設立(令和元年5月1日)を機に分野横断的な連携協力体制を構築し、緊密かつ組織的に取り組むことにより、積雪寒冷地での災害に対するセイフティーネットとして地域社会へ貢献・還元していくことを目的としています。

同日に行われた調印式では、川尻センタ

一長から、「防災に関する技術開発に限らず、今後は地域への防災教育などに積極的な連携を進めていきたい。」との抱負が述べられました。

3者は協定締結前から、オホーツク地域創生研究パーク(旧北見競馬場)での公開実験で相互協力を重ねるなど、密接な関係を築いてきましたが、今回の協定締結により、従来から実施している防災技術の研究・開発や、共同での災害時の現地調査だけでなく、地域の防災意識向上を目指した早期防災教育や防災に関するイベントの企画・実施等での連携が期待されており、今後の取組みに注目が寄せられています。



握手を交わす天野事務所長(中央)及び小谷内事務所長(右)と川尻センター長(左)



北海道開発局と本学の関係者

図書館消防訓練を実施

(情報図書課)

6月7日(金)、本学図書館において、昨年に続き北見地区消防組合本部と本学施設課立会いのもと、図書館単独の消防訓練を実施しました。

非常勤職員(大学院生)のみの対応となる土曜日に図書館1階多目的室から出火したと想定し、仮想利用者を館内各所に配置したうえ、一般利用者にも協力を呼びかけ、非常ベルや防火扉を作動させるなど、実際

的な訓練を行いました。当日は初期消火や消防等への通報、避難誘導も大学院生が担当しました。

避難完了後、消防の方から講評をいただき、図書館における危機管理意識を職員・非常勤職員とで共有しました。

当館では次年度以降も、実際に即した訓練を継続していく予定です。



出火の状況を伝達する大学院生



消防の方からの講評の様子

Regarding the future of IWMST and a meeting proposal 2019 を開催

(国際交流センター)

6月13日(木)、14日(金)の2日間、2000年からアジア地域の5大学により実施しているIWMSTワークショップの今後のあり方について協議を行いました。

この協議会には、中国武漢科技大学、哈爾濱工程大学及び台湾勤益科技大学から研究者及び国際交流担当者が本学を訪れ、本学関係者を含めて、1日目は全体会議と研究施設の視察、2日目は4分野(環境工学、電気工学、機械工学、英語・文化)に分かれて分野別会議を行いました。

1日目、鈴木聡一郎学長から本ワークショップへの継続と今後の期待が述べられ、関係者は感銘を受けていました。その後の全体会議では様々な意見が出され、今後は国際会議との連携や研究者交流、さらには共同研究への発展を見すえた、本ワークショップ継続への強い意志を確認しました。

午後からは学内の研究推進センターやオホーツク地域創生研究パーク(旧北見競馬場)を視察し、本学関係者からの説明に熱心に耳を傾けていました。

2日目、専門の4分野(環境工学、電気工学、機械工学、英語・文化)に分かれての研究者交流を行いました。短い時間でしたが積極的に交流を行い、今後の更なる交流に期待できるものとなりました。

ご協力いただいた教員の皆様、ご参加いただいた教員の皆様には感謝するとともに、このIWMST事業が様々な面で活用できると感じた2日間でした。

最後に、2020年には本学が当番大学となりIWMST国際ワークショップを開催することとなりました。今後、大学院生及び教員の皆様の積極的な参加を呼びかけていきたいと思ひます。



全体会議の様子



オホーツク地域創生研究パークの視察



分野別会議の様子



学外視察の硫黄山にて

東北地区進学相談会を開催

(入 試 課)

令和元年度北見工業大学東北地区進学相談会を6月14日(金)に青森で、15日(土)に八戸で、16日(日)に盛岡で開催し、合わせて139人の参加をいただきました。

当日は星 雅之アドミッションセンター

長からの挨拶、本学概要説明の後、学科・コースごとの個別相談、保護者・高校教諭向けの説明、模擬授業を行う中で、本学の教育制度について理解を深めていただきました。



概要説明 (盛岡)



保護者・高校教諭向け説明 (八戸)



模擬授業 (八戸)



個別相談 (青森)

父母懇談会（春季）を開催

（学 務 課）

6月22日（土）、全学生の保護者を対象に「父母懇談会（春季）」を実施しました。

当日は、全国から128組177人の保護者が参加し、全体説明会においては鈴木聡一郎学長からの挨拶に続き、富田剛夫学生後援会会長から後援会の活動状況が報告され、柴野純一副学長からは「本学の教育及び就職状況等」についての説明の他、様々な情報が保護者に提供されました。

その後、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、保護者からは修学状況、就職活動等について質問が出され熱心なやりとりが交わされました。

毎年恒例となっている大学祭に併せた開催のため、参加した保護者は研究室公開など他のイベントを見学する姿も見られ、本学学生の活動を知る良い機会となったようです。



柴野副学長による全体説明



教員による個別面談

研究室公開を実施

(学術推進機構)

6月22日(土)、23日(日)に開催された第57回大学祭において、「研究室公開」を実施しました。

普段、学外の方が目にする機会の少ない本学の研究内容を、やさしく楽しく紹介することを目的としており、今年は下記15の研究室等を公開しました。

近隣自治体が主催するイベントの一環で小学生の団体による大学見学を受け入れた

こともあってか、小さなお子様からご年配の方まで、2日間で延べ2,755の方に来場いただきました。

来場された方はそれぞれの研究室等において、本学教員や学生の説明を受けたり、ものづくりを体験したりするなど、本学における教育・研究活動について身近に感じたのではないのでしょうか。

公開した研究室のテーマ	
1	学ぼう！身近な電気エネルギー
2	電気エネルギーってなんだろう！！
3	VRで吹雪！一大画面とHMD 二つあるよー
4	メタンハイドレートをさわってみよう、燃やしてみよう！
5	大雨、地震、寒さによって起こる地盤災害の仕組み
6	物質の中の星空をのぞいてみよう
7	甘〜い研究
8	デジタルマイクロスコープで拡大してみよう
9	第16回光学ワンダーランド
10	わくわく電気ラボ
11	-30℃だから起こること、できること
12	きのこがつくる酵素で色を変える
13	ロボコンのデモンストレーションおよび操縦体験
14	クリーンなエネルギーを学んで、化学で遊ぼう！！
15	科研費なるほどポスター展



No. 8 デジタルマイクروسコープで
拡大してみよう



No. 13 ロボコンのデモンストレーション
および操縦体験



No. 9 第16回光学ワンダーランド



No. 14 クリーンなエネルギーを
学んで、化学で遊ぼう！！



No. 11 -30°C だから起こること、できること



No. 15 科研費なるほどポスター展

ブックリユースを開催

(情報図書課)

6月22日(土)、23日(日)の2日間、大学祭期間中に合わせ、「ブックリユース」を開催しました。

本企画は、図書館で不用になった本と、本学教職員が読み終えた本をリユース(再利用)するもので、地域の皆様、本学学生・教職員の学習や研究に役立ててもらおうと、2,831冊の図書や雑誌を準備しました。

学生アルバイトの協力もあり、おかげさまでたくさんの方にお立ち寄りいただきました。その中で、203人の方に1,175冊の本が譲渡され、多くの方から「毎年来ているよ」「欲しかった本なので助かります」など感謝の声をいただきました。

来年以降も開催し、多くの皆様に喜んでいただける企画にできればと思っています。



受付に座る学生アルバイト



選書の様子

北見市教育研究協議会社会科部会による施設見学を開催

(地域と歩む防災研究センター)

6月28日(金)、北見市内の小・中学校で主に社会科を担当している教諭による研究会である北見市教育研究協議会社会科部会からの依頼を受けて、オホーツク地域創生研究パーク(旧北見競馬場)の施設見学を開催しました。

当日は肌寒い天候であったものの22人の参加があり、地域と歩む防災研究センターの川口貴之副センター長が各実験設備の説明を行いました。参加者は設備ごとに質問を交えながら興味深く説明に耳を傾けていました。

また、同センターの川尻峻三センター長から、川と橋台に関する実験設備において「本設備は近年道内で発生した河川に関する災害を再現できるモデルとなっている。

橋の周囲において地上では小さな変化であっても地下では大きく土が侵食されていることがあり、実物大の規模で再現実験ができる設備は国内で数少ないため、北見工業大学ならではの研究だ」との説明がありました。

施設見学を終えた参加者からは「こういったインフラなどに興味を持つ生徒は北見工業大学のどの学科に進めば良いか?」、「当センターにおける研究予算はどのようになっているのか?」など幅広い質問があり、本学がオホーツク地域創生研究パークを活用して行っている教育研究活動について理解を深めていただく良い機会となりました。



のり面の保護について説明する
川口副センター長



川の流れによる浸食について
説明する川尻センター長



質疑応答の様子



オホーツク地域創生研究パークを
移動する参加者

科学英語論文執筆セミナーを開催

(情報図書課)

7月5日(金)、本学3号館情報処理センター第1演習室において、「科学英語論文執筆セミナー」を開催しました。

本セミナーは、出版社の外部講師を招き、英語による科学論文執筆についての基本を学ぶもので、出版社の立場からの執筆における準備、アクセプト(採用)にいたるまでの流れや注意点等について参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、引き続き「大学機関リポジトリKIT-R(キットアール)説明会」を開催しました。栗田とも子係長(目録管理担当)が研究成果を外部公開することによるメリットを紹介し、参加者へ研究成果の提出を呼びかけました。

今後も、本学の学術活動を支援するため利用者教育を積極的に行っていく所存です。



セミナーの様子

北見管内漁業協同組合長会と包括連携協定を締結

(研究協力課)

7月8日(月)、北見管内の全10漁協の組合長で組織される北見管内漁業協同組合長会と連携協定を締結しました。

本協定は、産業構造の変化などの社会経済情勢への変化や地域の課題について共通認識を持ち、包括的に連携協力し、相互の人的・知的・物的資源の活用と交流を図ることにより、水産業の活発化による活力ある地域社会を創生することを目的としています。

同日に常呂町のサロマ湖鶴雅リゾート屋外会場にて行われた調印式において、鈴木聡一郎学長はオホーツク地域の基幹産業である第一次産業の連携研究を進めるオホーツク農林水産工学連携研究推進センター(CAFFE)を紹介し、「大学が持つ研究シーズを第一次産業への工学的支援へと展開することでシナジーイノベーションを起こし、地域が培ってきた技術の継承と発展や地域固有の課題解決を目指したい」と述べ、阿部與志輝組合長会会長は「北見工業大学と

の関わりを強め、技術課題の解決のみならず、漁業に興味を持つ学生が増えるよう先生方と協力していきたい」と抱負を述べられました。また、ご来賓の北海道オホーツク総合振興局産業振興部の坂本達彦水産課長からは、オホーツク地域の第一次産業の発展に期待を込められたご祝辞をいただきました。

調印式後の懇親会では、佐呂間漁業協同組合代表理事組合長である阿部会長と、本学の高橋是太郎特任教授よりホタテ貝の内臓から抽出・精製したホタテオイルが紹介されるなど、本学の研究推進にも関心と期待が寄せられた式となりました。

本学は平成29年にオホーツク農業協同組合長会、北海道オホーツク総合振興局管内9森林組合とも包括連携協定を結んでおり、今回の協定締結により、地域の基幹産業である農業・林業・水産業との連携・協力の体制を整えることができました。



調印後握手を交わす
阿部会長(右)と鈴木学長(左)



晴天のサロマ湖を背景に
関係者による記念撮影

ハラスメント防止研修を実施

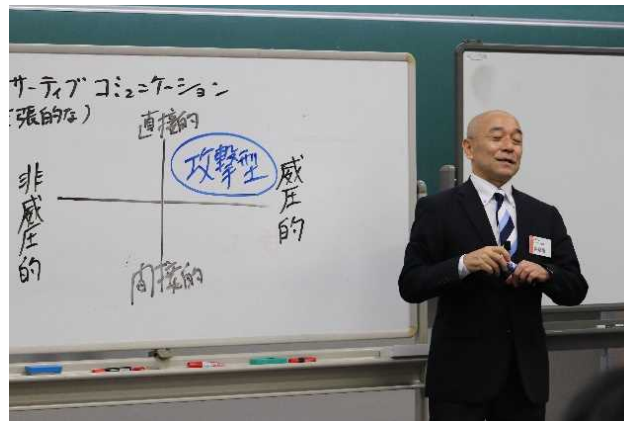
(総務課)

7月8日(月)、教職員のハラスメントに対する知識を深め、ハラスメント防止に努めることを目的として、ハラスメント防止研修を実施し、教職員約80人が参加しました。

株式会社インソースの内藤悟氏を講師と

してお招きし、パワー・ハラスメントの事例紹介を中心に講義が行われました。

参加した教職員は熱心に聴き入りながら、ハラスメント防止に対する認識を新たなものにしていました。



講義を行う内藤氏



研修の様子

学生選書ツアーを実施

(情報図書課)

7月12日（金）、コーチャンフォー北見店において、令和元年度第1回「学生選書ツアー」を実施しました。

本ツアーは年2回開催しており、学生自らが書店で図書館に所蔵する本を選書することで、学生のニーズにあった資料を収集し、図書館に対する学生の関心を高めることを目的としています。

当日は、大学院生を含め学生5人が参加し、「大学生が読んでおくべき本」、「気分転換に読みたい本」、「教養が深まる本」のいずれかのテーマのもと、合計34冊の本を

選びました。

今回は例年と比べて参加人数が少なかったものの、今年4月に入学したばかりの学部1年生が2人参加し、新入生ならではの自由な視点で、おもしろい本を複数選んでもらうことができました。

本ツアーで選んだ本については、選書理由などを記載したカードと併せて、7月下旬から9月末日まで図書館特設コーナーに展示しています。ぜひこの機会に図書館へお越しいただき、展示をご覧ください。



テーマに沿った本を探す参加者

第 66 回北見ぼんちまつり舞踊パレードに参加

(学術推進機構)

7月19日(金)、北見夏まつりの名物でもある北見ぼんちまつり舞踊パレードに今年も北見工業大学がチームを編成し参加しました。

今年の舞踊パレードには28団体2,700人余りが参加しました。生憎の曇り空ではありましたがパレードにはちょうど良い気温となり、北見夏まつりの幕開けとして大いに盛り上がりました。

本学では、留学生を含む学生、教職員約130人ほどの混成チームとなり「北見工大」揃いの浴衣や大学オリジナルのTシャツを

着て、団体長の鈴木聡一郎学長を先頭に3列の隊を組み花火の合図とともにスタートしました。

事前に講師を招いて体育館で練習した成果もあり、参加者は「北見ばやし」に合わせた軽快な踊りで市内の中心商店街を練り歩きました。参加者には6年連続参加の学生もおり、リピーターとして隊を盛り上げてくれるなど、チームが一体となり楽しんだひとときでした。

今後も様々なイベントに参加し、地域を盛り上げていきたいと思えます。



鈴木団体長を先頭に盛り上がる参加者



隊列を組み一生懸命に踊る学生たち



オリジナルTシャツで参加した教職員



体育館での事前練習風景

北洋銀行ものづくりテクノフェア 2019 に出展

(社会連携推進センター)

7月25日(木)、アクセスサッポロを会場に開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」に出展しました。

北洋銀行主催の「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」は、北海道内のものづくり産業を振興するためのイベントで、本学は1回目から共催機関の一つとして出展参加しています。産業界を中心に200を超える企業や団体が参加し、そのうち大学・高専からの出展は11件でした。

社会連携推進センターは、本学で進められている様々な研究を通じた社会貢献の拡大をめざし、研究の成果を広く社会に伝えるための技術広報を行っています。本展示会へもその一環として参加し、今年度は積

雪寒冷地域における防災力の向上に貢献するため5月に設置した「地域と歩む防災研究センター」について展示・紹介しました。

会場ではパネルや動画を用いた展示を行い、川尻峻三センター長と渡邊副学長が同センターで取り組む研究について説明を行いました。商談会では道内の企業から技術相談や共同研究に関する相談があり、非常に有意義な場となりました。

本フェアは道外からの来場者も多く、地域に根差した研究を行う大学という位置付けを広く周知することができました。

今後もイベント等への出展を通じ、本学のPRを進めていきたいと考えています。



開会式の様子



本学ブースで説明を行う渡邊副学長
(右から3人目)、川尻センター長(右)

オープンキャンパスを開催

(入 試 課)

7月27日(土)、高校生や保護者等を対象に、本学の教育研究内容や学修支援環境を紹介することを目的としてオープンキャンパスを開催し、345人が参加しました。

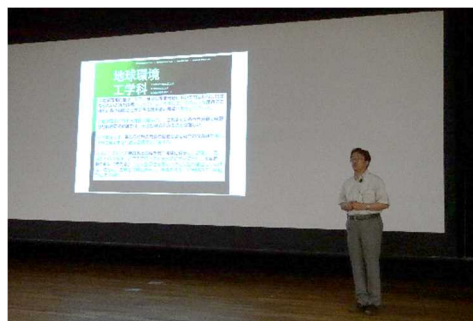
当日は鈴木聡一郎学長の挨拶、柴野純一副学長による大学概要説明、両学科長によ

る学科説明の後、両学科において体験学習等が行われました。

昼食は在学生に人気のメニューが食堂で参加者全員に提供され、午後からも体験学習や個別相談等が行われました。



柴野副学長による大学概要の説明



学科説明



体験学習



自由見学



学食体験



個別相談

かふえてらす@美幌を実施

(オホーツク農林水産工学連携研究推進センター)

7月29日(月)、地域の第一次産業の課題に焦点を当てる地域ミーティング「かふえてらす」の第1弾を美幌町の喫茶室豆灯にて行いました。

「かふえてらす」は、オホーツク農林水産工学連携研究推進センター(通称:CAFFÈ)の教員と各地域の第一次産業に関わる方や興味のある方が、地域の第一次産業における課題をテーマにざっくばらんに話し、地域が抱える潜在的な課題に光を当て、その解決を探る端緒を開くことを目的としており、今年から継続的にオホーツク管内各地で実施する予定です。

今回のかふえてらす@美幌では、美幌町役場、美幌町森林組合、美幌町農業協同組合から計6人の方にお集まりいただき、村

田美樹センター長から当センターの取り組みについて紹介した後、古民家でゆったりとおいしいコーヒーが味わえる、地元でも評判の喫茶室豆灯のコーヒーと軽食を共にしながら、野菜の収穫や選果などの問題について意見が交わされました。

参加した地域の方からは、AI画像解析への期待や「是非一度現場を見学に」などの声上がり、充実した地域ミーティングとなりました。

今後もオホーツク管内各地で「かふえてらす」を実施し、地域の第一次産業従事者や関連法人・団体とのネットワークを構築しながら、当センターを拠点とした第一次産業の課題解決を目指していきます。



美幌町で一次産業に関わる方々と
意見を交わすCAFFÈ教員



喫茶室豆灯の前での集合写真

= 日誌 =

6 月

- 3日 オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 4日 ホームページ専門委員会、教務委員会、編入学試験第1次募集（学力試験入試）願書受付（～10日）、入学者選抜委員会
- 5日 地域と歩む防災研究センターと北海道開発局網走開発建設部北見河川事務所及び北見道路事務所との調印式、編入学試験第1次募集（推薦入試・社会人特別入試）合格発表
- 6日 地域連携・国際交流委員会、発明審査委員会
- 7日 図書館消防訓練
- 10日 大学院博士前期課程一般入試（推薦入試併願）願書受付（～14日）
- 13日 IWMST協議会（～14日）
- 14日 東北地区進学相談会（青森会場）
- 15日 東北地区進学相談会（八戸会場）
- 16日 東北地区進学相談会（盛岡会場）
- 17日 大学院入学試験願書受付（～27日）
- 18日 研究支援室会議
- 19日 教育研究評議会
- 20日 学長選考会議
- 22日 父母懇談会（春季・北見）、研究室公開（～23日）、大学祭（～23日）、ブックリユース（～23日）
- 24日 共用設備センター運営会議
- 25日 役員会、教務委員会
- 26日 編入学試験第1次募集（学力試験入試）
- 28日 技術セミナー（技術士養成支援講座）

7 月

- 1日 オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 3日 大学院博士前期課程一般入試（推薦入試）面接試験
- 4日 教務委員会
- 5日 科学英語論文執筆セミナー
- 8日 北見管内漁業協同組合長会との包括連携調印式
- 9日 施設環境委員会、入学者選抜委員会
- 10日 社会連携推進センター運営会議、大学院博士前期課程一般入試（推薦入試）選考結果通知、編入学試験第1次募集（学力試験入試）合格発表
- 11日 発明審査委員会、地域連携・国際交流委員会
- 12日 学生選書ツアー
- 17日 教務委員会、インターンシップ事前研修会
- 19日 北見ぼんちまつり舞踊パレード、インターンシップ事前研修会
- 23日 共用設備センター運営会議
- 24日 教育研究評議会
- 25日 北洋銀行ものづくりテクノフェア2019
- 27日 オープンキャンパス
- 29日 かふえてらす@美幌
- 30日 研究交流会
- 31日 若手教員科研費勉強会